

デジタル変革（DX）時代に挑戦する

中堅実務者～若手技術者向け「要求定義研修」

－業務参照モデル（ひな型）の活用で、業務要求の取りまとめができる－

セミナー概要ポイント：現行業務改善の着眼点と見える化の実践的手法

システム開発トラブルの過半は業務上から発生する要求定義、要件定義に起因しています。本年3月1日号の日経コンピュータ誌でも、1700プロジェクトの半数が失敗と報告されています。かつ、原因は「要件定義が不十分」、その根本原因は「企画（超上流）が不十分」だと。

業務上からの要求を確実にとらえるために、本研修では、講師が長年にわたり開発してきた「業務参照モデル」を活用して業務プロセスの整理・記述を行います。そしてこの業務プロセスから質問を作成し、要求を漏れなく引き出し優先順位付けする方法を講義と演習とで学びます。「業務参照モデル」があるため、入社4年生が実施し成果を上げている事例も出ています。

この手法は、適用すべき業務プロセスを適切に特定できるため、定型業務だけでなく非定型の業務プロセスから引き出した要求の実現も対象となります。したがって、同誌での成功率が低い「AI、データ分析・ルールエンジン、IoT」へ対応ができます。

この研修により、抽象化や階層化、継続的な改善と最適性を求める方法を学び、ビジネスアナリストもしくは超上流SEとして新しい世界に入っていきませんか。

■受講していただきたい方

- ・業務部門、情報システム部門、ベンダー企業で、ビジネス分析、要求定義に取り組またい方
- ・経験の少ない方も歓迎します。

■日時：6月14日（木）、21日（木）、28日（木）の3日間
いずれも、10:00～17:00（開場：9:30）

■場所：アイオス五反田 2階第1会議室

■住所：東京都品川区東五反田 1-10-7
五反田駅（JR、地下鉄 浅草線）下車4分
http://www.abc-a.jp/seminar/map_aios.pdf

■主催：一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会
協賛：株式会社プロセスデザインエンジニアリング
：プレイズ・コンサルティング株式会社

■募集人数：20名（最低10名）

■参加費：ABC協会会員 9万円（税別）
会員以外 10万円

■お申込み方法：

方法1. 以下のお申し込みフォームからお申し込み下さい。

<https://transe.com/abc-seminar/20180614.html>

（ABC協会の協力会社・有限会社トランスプロジェクトのサイトです）

方法2. ABC協会の下記の本件研修窓口まで、メールでお問い合わせ、お申込み下さい。

y-iwata@abc-a.jp（岩田）, iwasa@abc-a.jp（岩佐）

<tel:03-6277-2055>

研修概要

詳細カリキュラムは、<http://www.abc-a.jp/seminar/2018xxxx.pdf> をご参照ください。

日程	研修概要
第1日目	1. ビジネスアナリシス方法論 2. 業務改革（プロセス改革）要求と IT ビジネス要求 3. 業務改革（プロセス改革）の構想と企画 （1）業務参照モデルの説明と未経験業務への利用 （演習）業務プロセス図の作成
第2日目	・前回の復習 3. （続き） （2）現状プロセスの調査、課題の抽出と記述方法 （演習）プロセス詳細の記述 （演習）プロセス改革要求の構造化 （3）要求の階層化 4. IT 要求定義 （1）IT 要求の定義、分類と目的 （2）IT 要求を引き出す。ヒアリングではなく。
第3日目	・前回の復習 （演習）ビジネスプロセスから IT 要求の引き出し 4. （続き） （3）IT 要求の事例紹介 （4）IT 要求の優先順位付け （演習）IT 要求の優先順位付け 5. IT 導入のための要求定義（要求取りまとめ） （1）IT 導入のためのプロセス定義 （2）基幹系業務への IT 導入 （3）非定型業務（意思決定業）への IT 導入 6. ルールベース A I による要求取りまとめのアプローチ

■講師紹介：

渡辺和宣氏 （株）プロセスデザインエンジニアリング・代表取締役

大手システム会社にて、システムエンジニアとしてシステムの企画・開発、ERPパッケージの導入コンサルティングに従事後、独立。主にユーザ企業側から ERP 導入を支援。その後、BPM や SCM に軸足を移す。これらの経験を踏まえ、事業戦略をビジネスプロセスを通して IT に反映 するための階層的モデリング方法論（GUTSY-4）とプロセス参照モデル(ESCORT)を開発。現在、バリューチェーンプロセス協議会の理事長、カリフォルニア州立工科大学 POMNA 校日本副代表

酒匂秀敏氏 ブレイズ・コンサルティング（株）・代表取締役

総合商社にて米国製コンピュータ機器の国内 OEM 販売などを手掛けた後、1991 年に人工知能 ソフト会社である米ニューロン・データの日本法人を設立。以来、約 27 年にわたりルールベース管理システム（RBMS）事業に従事している。2002 年にブレイズ・コンサルティングを設立し、ルールエンジン、アナリティクス用途の AI を活用した意思決定マネジメントシステムの教育、導入コンサルティング業務を展開。現在、ヘルスケア ICT 推進協議会の理事、JMFI 研究センターの AI・ビッグデータ研究会を主宰している。

以上